

メモリアルデー特別集会のための  
メッセージアウトライン

## クリスチャン生活

リビング ストリーム ミニストリー

©2024, Living Stream Ministry

All rights reserved. No part of this work may be reproduced or transmitted in any form or by any means — graphic electronic or mechanical including photocopying recording or information storage and retrieval systems — without written permission from the publisher.

*Translation from English*  
*Original title: Outlines of the Messages*  
*for the International Memorial Day Weekend Conference*

*( Japanese Translation )*

First Edition 750 copies. May 2024

*Printed in Japan*

## 目 次

### メモリアルデー特別集会のための メッセージアウトライン

#### 主 題： クリスチャン生活

内 容	.....	ページ
標 語	.....	4
メッセージ 1 : クリスチャン生活の内在的な意義	.....	5
メッセージ 2 : 接ぎ木された命	.....	13
メッセージ 3 : 聖なる塗り油としての 複合の膏油の内在的な意義と啓示—— 手順を経た三一の神の複合の、 すべてを含む霊の満ち満ちた予表	.....	17
メッセージ 4 : まことのぶどうの木としてのキリストの中に住む	.....	21
メッセージ 5 : クリスチャン生活をするとは、 神の壮大な家からの、またそのための、 命の供給を伴う命の流れを享受することによってである	...	25
メッセージ 6 : 三一の神はキリストの中で、 わたしたちの心の中を照らすことによって わたしたちの命となる	.....	29

# 主 題： クリスチャン生活

## 標 語

わたしたちは、わたしたちが経過するあらゆることには  
ただ一つの目的があることを認識する必要があります。

それは、神の命がわたしたちを通して解放され、  
わたしたちの中で表現されることです。

どうかわたしたちの外なる人がそのような程度にまで砕かれて、  
内なる人が解放され、表現されることができますように。  
これが尊いことであり、これが主のしもべの道です。

主の中に住むことは、彼と一つ霊になることであり、  
効力のある祈りは、わたしたちが主の中に住み、  
主の言葉がわたしたちの中に住んだ結果です。

わたしたちが命の流れとしてのキリストを享受することは、  
わたしたちが種まく者、植える者、水を注ぐ者、  
生む者、養う者、建造する者となり、  
命を供給して、神の驚くべき有機的な建造、  
すなわち神の壮大な家のためであることです。

わたしたちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、  
鏡のように見つめ、そして反映して、  
栄光から栄光へ、主と同じかたちへと造り変えられつつあります。

クリスチャン生活の内在的な意義

聖書：ヨハネ 14:21, 23. IIコリント 2:10. 4:6-7

I. クリスチャン生活は、キリストを生きる生活です。わたしたちの生きることはキリストであるべきであり、キリストを生きる道はキリストを愛することです——ピリピ 1:19-21 前半. ガラテヤ 2:20：

- A. わたしたちはキリストを極みまで愛することによって、キリストを生きることができます。わたしたちはキリストを愛さないなら、キリストを生きることができません。キリストを愛することは、わたしたちの全存在を彼の上に集中させる最上の道です——IIコリント 5:14. Iヨハネ 4:19. ピリピ 1:19-21 前半. マルコ 12:30. 啓 2:4-5. ヨハネ 14:21, 23. 21:15-17. Iペテロ 1:8. Iコリント 2:9. 16:22。
- B. 神を愛するとは、わたしたちの全存在を、すなわち、霊、魂、体を、心、魂、思い、力と共に(マルコ 12:30)、完全に彼の上に置くことです。これは、わたしたちの全存在を彼に占有していただき、わたしたちの全存在が彼の中で失われることです。その結果、彼がわたしたちのすべてとなられ、わたしたちは日常生活の中で、実際的に彼と一になります。
- C. わたしたちが彼を愛するとき、「その霊はすべての事柄、神の深みさえも探られます(Iコリント 2:10)。「探る」というギリシャ語は、積極的な探求を意味し、発見によってではなく、探し求めて得られた正確な知識を暗示します。神の霊は、キリストに関する神の深みを探し求めます。そしてそれらを、わたしたちの霊の中でわたしたちに示し、認識させ、あずからせます。
- D. クリスチャン生活をすることは、神の御子イエスを愛することです。それによってわたしたちは、御父と御子によって愛され、御子がわたしたちに現れることと、御父と御子がわたしたちに訪れて、わたしたちと共に相互の住まいを造ってくださることを享受します——ヨハネ 14:21, 23。
- E. クリスチャン生活は、わたしたちの愛としての神ご自身をもって神を愛し、互いに愛し合う生活です。キリストはかつてこの世において、神が愛である生活をしました。そして彼は今やわたしたちの命です。それによって、わたしたちはこの世において同じ愛の生活をし、彼の失われた者を捜し求め罪人を救う務めの行程において、彼であるのと同じになります——Iヨハネ 4:16-19. ルカ 10:25-37. 19:10. エペソ 4:20-21. 参照、ガラテヤ 5:13-15。

**II. クリスマン生活をするとは、キリストのパーソンの中で、すなわち、キリストの御顔の中で、すべての事を行なうことです——IIコリント 2:10. 4:6-7:**

- A. 「パーソン」を指すギリシャ語は、文字どおりには「御顔」です。第4章6節も同じです。それは目の周りの部分を指しています。表情は内側の思想や感覚の表示であって、その人全体を表明し、現します。
- B. 使徒パウロは、信者たちにとって模範であり(Iテモテ 1:16)、キリストの目の中で表現された彼のパーソン全体の表示にしたがって、キリストの臨在の中で生き、行動しました。
- C. わたしたちの心が主に向く時はいつも、おおいにわたしたちの心から取り除かれ、わたしたちはおおいのない顔をもって、栄光の主を見つめることができます。実は、わたしたちのそらされた心がおおいです。おおいのない顔は、おおいのない心であって、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を見つめます——IIコリント 3:16, 18. 4:6-7. サムエル上 16:7. エペソ 1:18 前半。
- D. 神の栄光は、キリストの御顔にあります。彼の御顔、彼のパーソンは、わたしたちの霊の中に内住する宝です——IIコリント 4:6-7. Iペテロ 3:4。
- E. わたしたちは、価値のない、もろい土の器ですが、わたしたちの霊の中には極めて価値のある宝、すなわち、キリストご自身の御顔、キリストご自身のパーソンがあります(IIコリント 2:10. 4:6)。全宇宙において、イエスの御顔を見つめることほど尊いことはありません(創 32:30. 出 25:30. 33:11, 14. 詩 27:4, 8. 啓 22:4):
  - 1. わたしたちは彼の臨在の中に生き、彼の存在の表示を見るときはじめて、彼がわたしたちにとってそのような宝であると感じます。わたしたちに問題があるなら、わたしたちはただ彼に告げる必要があります。彼はわたしたちの内側におられ、わたしたちと顔と顔を合わせています——ピリピ 4:6。
  - 2. 神を見ることは神を得ることに等しいのです。それは神の要素をわたしたちの中へと受け入れて、わたしたちを造り変えていただくことです(ヨブ 42:5-6. マタイ 5:8)。今日わたしたちが見ている神は、究極的に完成された霊です。わたしたちは霊の中で彼を見て、神の豊富をわたしたちの存在の中へと吸収し、日ごとに神聖な造り変えの下にすることができます(IIコリント 3:18 後半. マタイ 14:22-23. コロサイ 4:2)。

F. わたしたちは霊の中で心を主に向け、顔と顔を合わせて彼を見つめ、他の人たちの中へと彼の光を放つとき(イザヤ 60:1, 5)、わたしたちは彼の栄光のかたちへと造り変えられる過程の中にあり、その日に至って、「わたしたちは彼のように(なります)……。なぜなら、わたしたちは、彼がそうであるように、彼を見るからです」——Ⅱコリント 3:18-4:1. Iヨハネ 3:2. 啓 22:4。

**Ⅲ. クリスマン生活をするとは、召されたわたしたちが、その召しにふさわしく歩くことです——エペソ 4:1-4 :**

A. 神の召しにふさわしく歩くことの第一の項目は、わたしたちが神聖な属性によって、また神聖な属性をもって強められた、造り変えられた人性の美德をもって、キリストのからだの実際であるその霊の一を保つことを熱心に努めることです——エペソ 4:1-4 :

1. 栄光が現されたイエスの霊の中には、イエスの造り変えられた人性があります。一つからだのために一つ霊から飲んで流し出すことは、人なるイエスの霊から飲んで流し出すこと、すなわち、へりくだり、柔和、忍耐という、神性によって豊かにされた人性の美德から飲んで流し出して、愛の中で互いに担い合うことです——ヨハネ 7:37-39 前半. Iコリント 12:13. 使徒 16:7. エペソ 4:2-3。

2. わたしたちが主の御名を呼び求め、主から養いを得るなら、人としてのイエスを享受し、彼の引き上げられた人性のすべての美德は、イエスの霊の中でわたしたちのものとなります。それによってわたしたちは実際の霊の中で回復された召会生活を実行します。そして実際の霊はキリストのからだの実際です——Iコリント 1:2. 10:3-4, 17. 12:3 後半, 13. 16:13. エペソ 4:3-4 前半。

B. 神の召しにふさわしく歩くことの第二の項目は、わたしたちがすべての事なかしらであるキリストの中へと成長し込むことです——エペソ 4:15-16 :

1. わたしたちはすべての事でキリストの中へと成長し込んで、キリストのからだを建造するために、キリストを、すべてを含む宇宙的な置き換えとして享受し、一人の新しい人を生み出す必要があります。ですから、わたしたちは「彼に聞き」、「イエスだけ」を見なければなりません——マルコ 9:7-8。

2. キリストでない事物や人は何であれ、神は「解雇」します。神は彼の旧約エコノミーにおけるあらゆるものをキリストに置き換えました——

メッセージ 1 (続き)

1:1-8. マタイ 17:3-5. コロサイ 2:16-17. ヘブル 10:5-10. 11:5-6.  
参照、イザヤ 22:20-25。

3. 神はわたしたちを創造したとき、わたしたちを「雇用」しました。神はわたしたちを十字架につけ、キリストと共にわたしたちを十字架に釘づけたとき、わたしたちを「解雇」しました。神はわたしたちをキリストと共に復活させたとき、わたしたちを神・人という新しい種族、神の団体的な傑作としての神の新しい発明とすることによって、わたしたちを「再雇用」し、神の当初の意図へとわたしたちを戻しました。それはわたしたちを創造し、神の栄光を現し、神の団体的な表現を得ることでした——創 1:26. ガラテヤ 2:20. エペソ 2:6, 10, 15. イザヤ 43:7。
- C. 神の召しにふさわしく歩くことの第三の項目は、わたしたちがイエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことです——エペソ 4:20-24:
1. 「イエスにあるあの実際」は、四福音書に記録されているような、イエスの生活の実際の状態を指しています。イエスは神の中で、神と共に、神のためにすべてを行なう生活をしました。神は彼の生活の中におり、彼は神と一でした——20-21 節。
  2. 彼は四福音書において啓示されているように、地上での彼の生活において模範を設立しました。それから彼は十字架につけられ、復活させられて命を与える霊と成りました。それは彼がわたしたちの中へと入ってわたしたちの命となるためでした。わたしたちが彼から学ぶのは、彼の模範にしたがってであり、わたしたちの天然の命によってではなく、復活におけるわたしたちの命としての彼によってです——I コリント 15:45 後半. コロサイ 3:4。
  3. わたしたちは主を愛し、主と接触し、主に祈るとき、福音書で描写されている鑄型、形、模範にしたがって自動的に彼を生きます。こうして、わたしたちはこの鑄型のかたちに形づくられ、同形化されます。これが、キリストを学ぶことが意味することです——マタイ 11:29. ローマ 8:29。
- D. 神の召しにふさわしく歩くことの第四の項目は、わたしたちが愛と光の中で生きることです——エペソ 5:2, 8:
1. わたしたちは神聖な性質にあずかる者、神聖な性質を享受する者となる必要があります(II ペテロ 1:4)。神聖な性質は、神が何であるかです。すなわち、神は霊であり(ヨハネ 4:24)、神は愛であり(I ヨハネ 4:8, 16)、神は光です(1:5)。霊は神のパーソンの性質であり、愛は神の本質の性質



であり、光は神の表現の性質です。

2. わたしたちはみな主との個人的な時間を十分に費やして、わたしたちの霊の中で主とひそかに交わる必要があります。それによってわたしたちは、主の愛の本質で満たされて、主にわたしたちを通して他の人たちを牧養していただくことができます。またそれによってわたしたちは主の輝く要素で満たされて、他の人たちにわたしたちの中の主を見せることができます——ヨハネ 4:24. ルカ 15:20. マタイ 5:15-16。
- E. 神の召しにふさわしく歩くことの第五の項目は、わたしたちが霊の中で満たされてキリストをあふれ流すことによって生きることです——エペソ 5:18:
1. 神に語ること、歌うこと、朗詠すること、神に感謝をささげること、キリストを畏れつつ互いに服従し合うことは、霊の中で満たされることの流れ出であるだけでなく、霊の中で満たされるための道でもあります——19-21 節。
  2. 霊の中で満たされることは、キリストの豊富で満たされてキリストの豊満、キリストのあふれ流れとなることです。わたしたちは主を呼び求め、主の御言を祈り読みすることによって、主を恵みの上にさらに恵みとして絶えず受けて、主の豊満、主のあふれ流れとなることができます——3:8. 1:23. 3:19 後半. ローマ 10:12-13. エペソ 6:17-18. ヨハネ 1:16。

#### IV. クリスマン生活をするとは、聖霊の管理を受け入れることです:

- A. 神が願っているのは、わたしたちが聖霊の管理を受け入れること、すなわち、神がわたしたちを器から器へあけて、わたしたちの天然の外なる人の<sup>おり</sup>澱、くずを取り除くことによって、わたしたちの味を取り除き、わたしたちの香りを変えることであって、ついにわたしたちがキリストの純粋な味を持ち、キリストの純粋な香りを醸し出すに至るということです——エレミヤ 48:11. II コリント 2:14-15. 雅 4:16. 列王下 4:8-9:
1. 「霊の父」は試練と懲らしめを通してわたしたちを取り扱います。それは「わたしたちが彼の聖にあずかる」ためです——ヘブル 12:4-13。
  2. 試練と懲らしめを経過したことがない者たちは、器から器へあけられたことがありません。こういうわけで、彼らの天然の個性、外なる人、自己から出て来る澱、くず、沈殿物の味は、彼らの内側に残ったままであり、彼らの香りは変わっていないのです——エレミヤ 48:11. ローマ 8:28-29. 雅 4:16。

メッセージ 1 (続き)

- B. マリアは非常に高価で純粋なナルドの膏油こうゆ一リトラが入った石膏せっこうの壺つぼを持っていました。彼女がその壺を砕き、それを主の上に注ぎ出したとき、「その家は、膏油の香りで満たされ」ました——ヨハネ 12:2-3. マルコ 14:3. 参照、雅 1:12。
- C. 石膏の壺はわたしたちの外なる人を表徴します。それは砕かれる必要があります、それによって内なる人が出て来ることができます。主はとても多くの異なる面において、わたしたちの中で、またわたしたちの上で働きます。その目的は、土の器、石膏の壺、外なる殻を砕くためです——IIコリント 4:7. ヨハネ 12:3, 24. ローマ 8:28-29。
- D. わたしたちの天然の存在は何の意味もありません。その壺がわたしたちの存在の中へと構成し込んだものだけが勘定されます。聖霊の管理は、わたしたちの天然の性情と習慣を破壊し、聖霊の構成をもたらし、わたしたちを円熟と甘さにもたらしめます。神はわたしたちの環境におけるあらゆるものを案配して、わたしたちの天然の存在を取り壊します。それによって彼はわたしたちの中で新しい性情、新しい性格、新しい属性を形成します——ヨハネ 3:6. IIコリント 5:17. ガラテヤ 6:15。
- E. 砕かれることができない二つの主要な原因があります：
1. ある人が砕かれていないのは、彼が暗やみの中で生きているからです。彼は自分に対して起こるすべての事において、すべてを他の人々や環境のせいにして。彼には啓示がなく、神の御手を見ておらず、神が彼を対処している方であるということを見ていません——参照、ヨブ 10:13. エペソ 3:9。
  2. ある人が砕かれていないのは、彼があまりにも自分自身を愛しているからです。わたしたちは神にわたしたちから自己愛を取り除いてくださるように求めなければなりません。すべての誤解と不満にはただ一つの原因があります。それは隠れた自己愛です。
- F. わたしたちは、わたしたちが経過するあらゆることにはただ一つの目的があることを認識する必要があります。それは、神の命がわたしたちを通して解放され、わたしたちの中で表現されることです。どうかわたしたちの外なる人がそのような程度にまで砕かれて、内なる人が解放され、表現されることができるよう。これが尊いことであり、これが主のしもべの道です——ヨハネ 12:24-26. IIコリント 4:12。

## 外なる人が砕かれて、その霊が解放され、神が表現されることに関する交わり

わたしたちは、なぜ神がわたしたちをこの世に置かれたのかを知らなければなりません。神はわたしたちをこの世に置かれました。それは、わたしたちの存在が、罪人や信者や世人に、義に対する飢え渴きを起こさせるためです。わたしたちが働く時、わたしたちは他の人たちの内側に飢えを起こさせなければなりません。わたしたちの存在によって他の人たちに神を追い求めさせるような不思議な新鮮さ、力、食物、供給が、わたしたちの内側になければなりません。他の人たちがわたしたちに会い、話をした結果、神を求める願いを持つようになるべきです。もしわたしたちが他の人たちにいつも会い、交流していながら、神を求める願いを彼らの内側に起こすことがなければ、わたしたちは失敗しているのです。もしわたしたちが聖書を読み、祈り、仕え、福音を宣べ伝えても、人の内側に強い空腹感を生み出すことがなければ、わたしたちの働きは失敗しているのです。(二一全集、第42巻、第31編)

列王紀下第4章には、シュネムの女がエリシャをもてなす話があります。聖書は次のように記しています、「ある日、エリシャがシュネムを通っていると、そこに一人の裕福な婦人がいて、彼に食事をするようしきりに勧めた。そこで彼は通るたびに、そこに寄って食事をしていた。彼女は夫に言った、『いつもわたしたちの所を通るこの人は聖なる神の人であることを、わたしは知りました』(8-9節)。エリシャはシュネムを通りました。彼は、メッセージの一つもせず、奇跡の一つも起こしませんでした。彼はそこを通りかかるたびごとに、そこに寄って、食事をしました。シュネムの女は、エリシャの食事の仕方から、エリシャを神の人であると見なしました。これがエリシャが他の人たちに与えた印象です。

今日、わたしたちは自分に問わなければなりません、「わたしたちはどんな印象を他の人たちに与えているのだろうか？ わたしたちからどんなものが出て来ているのだろうか？」。外なる人は砕かれなければならないことを、わたしたちは繰り返し述べてきました。外なる人が砕かれていなければ、他の人たちがわたしたちから受ける印象は、外なる人にほかなりません。わたしたちは他の人に接触する度に、わたしたちが自己を愛している人であるとか、頑固な人であるとか、高ぶっている人であるといった、好ましくない感覚を与えるかもしれません。あるいは、わたしたちは利口で非常に雄弁であるという印象を与えるかもしれません。多分、わたしたちは、いわゆる良い印象を他の人に与えるかもしれません。しかし、この印象は神を満足させるでしょうか？ それは召会の必要に間に合うで

メッセージ 1 (続き)

しょうか？ 神は満足されません。そして、召会はわたしたちのいわゆる良い印象を必要としません。

……外なる人が砕かれなければ、わたしたちの霊は解放されません。そして、わたしたちが他の人たちに与える印象は、霊の印象ではなくなります。

……他の人たちに印象を与えるものは、わたしたちが自分の中に持っている最も強い部分です。(二一全集、第54巻、「外なる人が砕かれて霊が解放される(霊の解放)」、第8編)

## 接ぎ木された命

聖書：ヨハネ 15:1, 4-5. ローマ 11:17-24. I コリント 6:17

- I. わたしたちはキリストにある信者として、接ぎ木された生活を生きるべきです。この生活の中で、わたしたちは主と一つ霊であり、主との有機的な結合の中で生きます——I コリント 6:17. ヨハネ 15:4。
- II. 聖書は、神が人と持つことを願う関係が、神と人が一となることであることを啓示しています——I コリント 6:17：
- A. 神は、神聖な命と人の命が共に結合されて一つの命となることを願っています——ヨハネ 15:1, 4-5。
  - B. この一は有機的な結合、命における結合、すなわち接ぎ木された命です。
  - C. 神聖な命と人の命が接ぎ木されて一になるという概念は、奥義的であって、天然の観念を超えており、人の思考にとって異質なものです。
- III. 接ぎ木によって、二つの似た命は結合され、そして共に成長します——ローマ 11:17-24：
- A. 接ぎ木は、接ぎ木される命が似ているときにはじめて、有効となり得ます。
  - B. わたしたちの人の命は、神のかたちに、神の姿にしたがって造られたので、神聖な命に結合されることができます。
  - C. わたしたちの人の命は神聖な命と似ています。ですから、神聖な命と人の命は共に接ぎ木され、そして共に有機的に成長することができます。
- IV. わたしたちがキリストの中へと接ぎ木されるために、彼は肉体と成ること、十字架、復活の順序を経過しなければなりません：
- A. キリストが肉体と成って、ダビデの子孫、ダビデの枝、若枝となったのは、わたしたちが彼と共に接ぎ木されるためでした。彼がわたしたちであるのと同じになったのは、彼とわたしたちが共に接ぎ木されることができるためでした——ヨハネ 1:14. マタイ 1:1. ゼカリヤ 3:8. エレミヤ 23:5. 33:15。
  - B. キリストは十字架上で「切られ」ました。それは、わたしたちが彼の中へと接ぎ木されることができるためでした：
    - 1. キリストがダビデの枝になったということだけで、キリストがわたしたちと共に接ぎ木されることができるということを意味するものではありません。
    - 2. 接ぎ木することは切ることを必要とします。二本の枝は、両方が切られることがなければ、共に接ぎ木されることはできません：

- a. キリストは十字架上で死なれたとき、切られました。
  - b. わたしたちは悔い改めて主を受け入れたとき、切られました。
3. 切られた後、結び合わせることに有機的な結合が起こります。ですから、わたしたちは接ぎ木されることの中で、切られることと、結び合わされることと、有機的な結合を持ちます。
- C. キリストは十字架上で切られた後、復活させられて命を与える霊と成りました——Iコリント 15:45 後半, IIコリント 3:17 前半:
1. キリストはそのような霊と成ることによって、接ぎ木される用意ができていました。
  2. いったんわたしたちが悔い改めて主を受け入れると、主は命を与える霊として、わたしたちの霊の中へと入り、神聖な命をわたしたちの中へもたらします。そしてわたしたちは、キリストと共に接ぎ木されます——ヨハネ 20:22, ローマ 8:11:
    - a. この命は、死と復活の命です。
    - b. キリストは命を与える霊として、わたしたち信者の中へと死と復活のかぎをもたらし、わたしたちがキリストと共に死んで復活させられるようにします——ガラテヤ 2:20。
    - c. わたしたちはこの死と復活の中で、キリストと共に接ぎ木されます。
- V. **わたしたちは再生された者として、接ぎ木された命を生きるべきです。その命の中で、双方は結合されて有機的に成長します——ヨハネ 15:1, 4-5:**
- A. わたしたちは、キリストの中へと接ぎ木された後、もはや自分自身によって生きるべきではありません。むしろ、わたしたちは霊なるキリストにわたしたちの中で生きていただくべきです——ガラテヤ 2:20。
  - B. わたしたちはもはや自分の肉によって、あるいは天然の存在によって生きるべきではありません。むしろわたしたちは、自分の再生された霊、すなわちキリストに接ぎ木された霊によって生きるべきです——ローマ 8:4。
  - C. わたしたちはこのように接ぎ木されることを通して、彼と結合され、彼とミングリングされ、彼と合併されて、キリストのからだとなります——12:4-5。
- VI. **接ぎ木された命は、交換された命ではなく、人の命と神聖な命とのミングリングです——ガラテヤ 2:20:**
- A. 交換された命という観念は、わたしたちが自分の人の命を主に明け渡して、主がそれをご自身の神聖な命と置き換えてくださるというものです。

B. クリスチャンの命は、交換された命ではなく、接ぎ木された命、すなわち、人の命と神聖な命とのミングリングです——ローマ 6:3-5. ヨハネ 15:1, 4-5:

1. そこには、命の交換や取り換えはありません。
2. 交換するのではなく、神聖な命を人の命の中へと分与し注入して、神聖な命を人の命とミングリングします。

C. クリスチャンの経験の中で最もすばらしい実際は、キリストにある信者たちが命の方法でキリストと結合されることです——I コリント 6:17:

1. キリストであるものは何であれ、またキリストが行なったことは何であれ、完全に一つの事のためです。すなわち、キリストとわたしたちが有機的に結合され、接ぎ木された命を生きることができるためです——ヨハネ 15:4-5。
2. 主は彼の回復において、接ぎ木された命というこの軽視された事柄を回復しつつあります。

**VII. 接ぎ木された命の中で、人の命は除き去られるのではなく、神聖な命によって強められ、引き上げられ、豊かにされます——ローマ 11:17-24:**

A. 接ぎ木された命の中で、枝はなおもその同じ本質的な特徴をとどめていますが、その命はさらに良い命へと接ぎ木されることによって、引き上げられ造り変えられます:

1. さらに高い命がさらに低い命を征服します。
2. さらに高い命がさらに低い命を豊かにし、引き上げ、造り変えます。

B. 接ぎ木された命の中で、神聖な命がわたしたちの内側で働いて、消極的な要素を排除します——II コリント 3:18:

1. 神聖な命は徐々に働いて、天然的なものをすべて取り除きます。
2. わたしたちの性情の消極的な要素は殺され、それから主はわたしたちの性情を投げ捨てるのではなく、それを引き上げ、用います。

C. 接ぎ木された命の中で、神聖な命は神の当初の創造を復活させます——ヨハネ 11:25:

1. 神は、彼の創造を放棄する代わりに、それを取り戻されます。
2. 神は、わたしたちの存在のすべての面を復活の中へともたらずことを意図しています——ピリピ 3:11:
  - a. 神聖な命は、消極的なものを排除するとき、働いて神の当初の創造を復活させます。

メッセージ 2 (続き)

- b. このようにして、わたしたちの本来の機能(創造のときにわたしたちに与えられた機能)は、回復され、強められ、豊かにされます——ガラテヤ 2:20。
- D. 接ぎ木された命の中で、神聖な命はキリストの豊富をわたしたちの内側の各部分に供給します——ローマ 12:2:
1. わたしたちの復活させられ引き上げられた器官は、キリストの豊富をもって供給されます。
  2. わたしたちはこのような供給を通して、わたしたちの思い、感情、意志において更新されます。
- E. 接ぎ木された命の中で、神聖な命はわたしたちの全存在に浸透します——ローマ 8:29-30:
1. キリストの豊富は、わたしたちに浸透し、わたしたちを造り変えます——ローマ 12:2. IIコリント 3:18。
  2. 神聖な命のこの浸透によって、わたしたちはキリストのかたちに同形化されます——ローマ 8:29。



聖なる塗り油としての複合の膏油の内在的な意義と啓示——  
手順を経た三一の神の複合の、すべてを含む霊の満ち満ちた予表  
聖書：出 30:22-30. I コリント 15:45 後半. ヨハネ 7:37-39. ペリピ 1:19

I. 聖なる塗り油、すなわち「調合する者のわざにしたがって複合された」オリブ油と四つの香料の複合の膏油は、イエス・キリストの霊の満ち満ちた予表です。この霊は、キリストが死と復活を通して成った、手順を経た三一の神の複合の、すべてを含む、命を与える霊です——出 30:22-25. I コリント 15:45 後半. ヨハネ 7:37-39. ペリピ 1:19 :

A. この複合の塗り油の成分の意義は、以下のとおりです :

1. 流れる没薬<sup>もつやく</sup>は、葬りの時に用いられる香料であり(ヨハネ 19:39)、キリストの尊い死を表徴します(ローマ 6:3) :
  - a. 没薬はまた鎮痛剤として用いられて、死の苦しみを軽減しました。主イエスが十字架につけられていた時に、没薬を混ぜたぶどう酒が与えられたのは、彼の苦痛を軽減させるためでした——マルコ 15:23。
  - b. 没薬はまた不適切な分泌物を出す体をいやすのにも用いることができました。わたしたちの人生の中には、多くの不適切な分泌物がありますが、主の十字架上の死はこの問題を正します。
2. かおり高い肉桂<sup>につけい</sup>は、キリストの死の甘さと効力を表徴します——ローマ 8:13 :
  - a. 肉桂は、衰弱した心臓を増強するのに処方されました。
  - b. わたしたちがその霊の中の主の死をわたしたちの内なる存在に適用するとき、わたしたちの心は増強されて、わたしたちを主の中で幸いにし喜ばせます——ペリピ 4:4. ネヘミヤ 8:10。
3. におい菖蒲<sup>しょうぶ</sup>は、沼あるいは泥の場所で上に生長する葦<sup>あし</sup>であり、キリストの尊い復活を表徴します——エペソ 2:6. コロサイ 3:1. I ペテロ 1:3。
4. 桂枝<sup>けいし</sup>は、古代に虫や蛇を駆逐するのに用いられ、キリストの復活の駆逐する力を表徴します。桂枝はすべての邪悪な「虫」を駆逐し、特に古い蛇である悪魔を駆逐します——ペリピ 3:10。
5. オリブ油は、複合の膏油のベースとして、複合の霊のベースとしての神の霊を表徴します——創 1:2。

B. 四という数は人のかしらとする(創 1:26)被造物を表徴し(エゼキエル 1:5)、一という数は唯一の神を表徴するので(申 4:35. I テモテ 2:5)、四つの香料は、神の創造におけるキリストの人性を表徴し、一ヒンのオリブ油は彼

の神性を持つ唯一の神を表徴します。こういうわけで、オリーブ油と四つの香料のブレンドは、複合の霊における、神と人、神性と人性の複合、ミングリングを表徴します——レビ 2:4 とフットノート 3。

- C. オリーブ油と四つの香料がすべて、圧搾あるいは切られることの過程を通して用意されたことは、神の霊がキリストの苦難を通して(マタイ 26:36)キリストの霊となったことを表徴します(ローマ 8:9)。
  - D. さらに、四つの香料の分量が、それぞれ五百シケルから成る三つの単位であり、中間の五百シケルが二つの部分に分けられていたことは、復活における三一の神、第二者(御子)が十字架上の死によって「分けられた」ことを表徴します。
  - E. 聖書で五は責任の数ですから(マタイ 25:2 とフットノート 1)、複合の膏油の五つの要素と、四つの香料の三つの五百シケルの単位は、三一の神が復活において責任を担うための力、能力であることを表徴します。
  - F. 三と五という数は神の建造と関係があるので(参照、創 6:15 のフットノート 2)、複合の膏油におけるこれらの数は、複合の霊の中に神の建造の要素があることを表徴します。
  - G. 以上の意義に基づいて、四つの香料とオリーブ油を複合して塗り油を作ることが表徴するのは、キリストの肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の過程を通して、以上に述べた要素と神の霊とのミングリングが、複合の霊を生み出し、神の永遠の住まいを建造するためであるということです。
- II. 複合の膏油、聖なる塗り油は、幕屋とそのすべての調度品、祭壇とそのすべての器具、洗盤とその台、祭司たちを油塗るのに用いられ、神の神聖な定められた御旨のためにこれらすべてのものを神に対して聖とし、分離し、聖別しました——出 30:26-30. I ペテロ 1:2. I コリント 6:11. ローマ 15:16 :**
- A. この膏油が表徴するのは、三一の神が、キリストの肉体と成ること、十字架、復活を通して手順を経て究極的に完成され、すべてを含む複合の霊と成って、彼の選ばれ贖われた人々に到達し、ご自身をもって彼らを油塗り、ご自身を彼らと一にならせ、彼らを彼と一にならせるということです——ヨハネ 20:22. I ヨハネ 2:20, 27. II コリント 1:21. I コリント 6:17。
  - B. このような油塗りは、わたしたちの内側の複合の霊の動きであり、わたしたちに適用し、手順を経て究極的に完成された三一の神のすべての要素を

わたしたちの内なる存在の中へと加え、わたしたちの内なる人が神聖な要素をもって神聖な命の中で成長し、わたしたちが神とミングリングされて一になるようにします——コロサイ 2:19。

- C. 聖なる塗り油はただ一つの目的のため、すなわち、神の住まいと祭司の体系を油塗るためです(参照、I ペテロ 2:5)。ですから、神の住まいと祭司の体系のためである人たちだけが、複合の、すべてを含む霊を享受することができます。

**III. オリーブ油によって表徴されている神の霊は、もはやただの油ではなく、今やいくつかの成分が複合されている油です。この事に関して、ヨハネ第7章 39 節は言います、「イエスはこれを、彼の中へと信じる者たちが受けようとしているその霊について言われたのである。まだイエスの栄光が現されていなかったのも、その霊はまだなかったからである」:**

- A. この意味は、主の栄光が現される前(彼の復活の前——ルカ 24:26)、複合の霊はまだなかったということです。キリストが復活した後に、そのような霊の複合あるいはブレンディングが完成されました。
- B. この霊は神の霊であったとき、神聖な要素しか持っていませんでした。この霊はキリストの肉体と成ること、十字架、復活を通して、イエス・キリストの霊と成った後、神聖な要素と人に属する要素の両方を持ち、キリストの肉体と成ること、十字架、復活のすべての本質と実際を伴うようになりました。
- C. 聖なる塗り油が予表するこのすべてを含む複合の霊は、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給であり、キリストのからだの供給です。この供給によって、わたしたちはからだの中で、からだを通して、からだのためにキリストを生きて、キリストを大きく表現することができます——ピリピ 1:19-21 前半。

**IV. わたしたちは信者として、複合の膏油で、すなわちすべてを含む霊で油塗られています。詩篇第 133 篇 2 節は、塗り油がどのようにアロンの頭から彼の髭<sup>ひげ</sup>に流れ下り、それから彼の衣のすそに流れ下ったかを描写しています。これは、からだ全体がその霊で油塗られていることを表徴します:**

- A. 一の立場とは、聖なる塗り油としての手順を経た三一の神、複合の霊が、わたしたちの存在に適用されることです——詩 133:1-3。
- B. わたしたちは膏油によって「塗られる」ために(I ヨハネ 2:20, 27)、召会と一でなければなりません。このようにすれば、わたしたちは自然に塗り

### メッセージ 3 (続き)

油とそのすべての要素の適用を享受します。この膏油が適用されることによって生み出される一は、何とすばらしいことでしょう！

まことのぶどうの木としてのキリストの中に住む

聖書:ヨハネ 15:1, 4-5, 7. Iヨハネ 2:6, 27-28. 3:24. 4:13, 15. ローマ 8:4

**I. 主イエスは、「わたしはまことのぶどうの木であ[る]」と言いました——ヨハネ 15:1 前半. 参照、啓 14:18 :**

- A. このまことのぶどうの木(御子)とその枝(御子にある信者たち)は、神のエコノミーにおける三一の神の有機体です。
- B. この有機体は、彼の豊富をもって成長し、彼の神聖な命を表現します。

**II. ぶどうの木の枝として、わたしたちはぶどうの木の中に住む必要があります——ヨハネ 15:4-5 :**

- A. 主の中にいることは結合の事柄です。主の中に住むことは交わりの事柄です—— I コリント 1:9, 30。
- B. わたしたちがぶどうの木であるキリストの中に住むことは、わたしたちがぶどうの木の枝であるという明確なビジョンを見ることにかかっています。わたしたちはひとたび、自分がぶどうの木の枝であることを見るなら、わたしたちと主との間の交わりを維持する必要があります——ヨハネ 15:2。
- C. クリスマン生活は、主の中に住む生活です—— I ヨハネ 2:6, 27-28. 3:24. 4:13, 15。
- D. わたしたちがキリストの中に住むことは、彼がわたしたちの中に住むこと条件です——ヨハネ 15:5 前半。
- E. ぶどうの木から離れるなら、わたしたちは無であり、何も持たず、何もすることができません——5 節後半。
- F. 枝がぶどうの木の中に住んで始めて、ぶどうの木は枝にとってすべてとなることができます。

**III. わたしたちがキリストの中に住み、彼にわたしたちの中に住んでいただくことは、すべてを含む油塗りの内側の教えを顧慮することによります——**

**I ヨハネ 2:27 :**

- A. わたしたちがキリストとの神聖な交わりの中に住むのは、主の血の清めを経験することによって、また油塗る霊をわたしたちの内なる存在に適用することによってです——ヨハネ 15:4-5. I ヨハネ 1:5, 7. 2:20, 27。
- B. かしらとしてのキリストは、油塗られた方であり、油塗る方でもあります。わたしたちは彼の肢体であって、彼を内なる油塗りとして享受し、彼の定められた御旨を完成します——ヘブル 1:9. 3:14. II コリント 1:21-22。
- C. 油塗りは、わたしたちの内側にある複合の霊の動きと働きであり、神をわ

わたしたちの中へと油塗ります。それによってわたしたちは、神で浸透され、神を所有して、神の思いを理解します。油塗りは、からだのかしらであるキリストの思いを彼の肢体に伝えます。それは命の内なる感覚、内なる知覚によってです——詩第 133 篇、I コリント 2:16、ローマ 8:6、27。

**IV. 主の中に住むことは、彼と一つ霊になること、すなわちミングリングされた霊の中で生きることです——I コリント 6:17:**

- A. 新約の本質は、二つの霊、すなわち神の霊と人の霊が、共にミングリングされて一になることです——17 節、ローマ 8:4。
- B. この二つ霊の結合は、聖書における最も深い奥義です。
- C. 「一つ霊」という表現は、その霊である主とわたしたちの霊とのミングリングを示しています——I コリント 6:17:
1. この霊(わたしたちの霊と主の霊とがミングリングされて一つ霊となっている)は、主の霊であり、またわたしたちの霊でもあります——ローマ 8:4、II コリント 3:17、I コリント 15:45。
  2. わたしたちのすべての霊的経験、すなわち、わたしたちが主と交わること、主に祈ること、主と共に生きることなどは、このミングリングされた霊の中にあります。
- D. 神のエコノミーの焦点は、ミングリングされた霊、すなわち、神の霊と人の霊とのミングリングです。神が行なおうとすること、達成しようとすることは何であれ、この焦点と関係があります——エペソ 3:5, 9, 1:17, 2:22, 5:18, 6:18:
1. わたしたちは主と一つ霊になることによって、彼をすべてを含む方として経験することができます——I コリント 1:2, 24, 30, 2:7-8, 10, 3:11, 5:7-8, 10:3-4, 11:3, 12:12, 15:20, 23, 45, 47。
  2. わたしたちがキリストを経験し、キリストをすべてとすることができるのは、わたしたちが彼と一つ霊になっているからです。
  3. 主と一つ霊であるすべての人にとって、供給は無尽蔵です。
- E. ミングリングされた霊とは、神と一つ霊である霊、また神格においてではなく命と性質において神と同じである霊です——I ヨハネ 5:11、II ペテロ 1:4:
1. 神聖な霊と人の霊は、わたしたちの内側でミングリングされて一となっています。それは、わたしたちが、神・人の生活、すなわち、神であるが人であり人であるが神である生活をするためです——ガ

ラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半。

2. 神・人の生活とは、二つ霊が共に結合されミングリングされて一となった生活です。
- F. 主と一つ霊であることが暗示しているのは、わたしたちが彼の中におり、彼がわたしたちの中において、わたしたちと彼が命において一であるということ—ヨハネ 3:16. I ヨハネ 5:12。
- G. 正常なクリスチャンとなるために、わたしたちが認識しなければならないことは、主イエスが今日、三一の神の具体化としてその霊であって、わたしたちの霊に内住しており、わたしたちの霊とミングリングされているということ—II コリント 3:17. I コリント 15:45. 6:17。
- H. 聖書が要求していることは、わたしたちがミングリングされた霊にしたがって歩くこと—ローマ 8:4:
1. すべての事のかぎは、すばらしい霊の中に見いだされます。彼はわたしたちの再生された霊の中におり、わたしたちの霊と一つ霊になっています。
  2. 霊の中で生きるとは、キリストにわたしたちを満ちし浸透していただき、ついに彼がわたしたちの全存在を飽和し、こうしてわたしたちを通して表現されるに至ること—エペソ 3:17。
  3. ヨハネ第 15 章 4 節から 5 節の相互に住み合うことは、主と一つ霊であることを実行することです。
- V. **効力のある祈りは、わたしたちが主の中に住み、主の言葉がわたしたちの中に住んだ結果です—ヨハネ 15:7:**
- A. 祈りとは、人が神と協力し、神と同労し、神に人を通してご自身を表現していただき、こうして神の定められた御旨を完成していただくことです。祈る人は、神と協力し、神と同労して、自分の内側から、また自分を通して神にご自身とご自身の願いを表現していただきます—ローマ 8:26-27. ヤコブ 5:17:
1. 祈りとは、人と神の間の交流であり、人と神の間の相互の接触です。
  2. 祈りの真の意義は、わたしたちの霊の中で神と接触し、神ご自身を吸収すること—エペソ 6:18。
  3. 内住するキリストを経験し、キリストを生きる方法は、真実な方法で祈ること—コロサイ 1:27. 3:4. ピリピ 1:20-21 前半。
  4. わたしたちは、自分たちを主との接触の中へともたらずような祈り、ま

メッセージ 4 (続き)

たわたしたちの霊の中で主と一にならせるような祈りを必要とします  
——Ⅱテモテ 4:22. I コリント 6:17。

B. わたしたちが主の中に住み、主の言葉がわたしたちの中に住むとき、わたしたちの中に、主の言葉から出てくる願いがありますようになります——ヨハネ 15:7. I ヨハネ 5:14-15:

1. わたしたちは主の感覚に触れ、主の意図を理解します。そして自然にわたしたちの中に彼の願いを持ちます。
2. 彼の願いはわたしたちの願いとなり、彼が欲するものはわたしたちが欲するものとなり、わたしたちはこの願いにしたがって祈ります。
3. 主はこのような祈りに答えます。なぜなら、このような祈りは、わたしたちが主の中に住み、主の言葉がわたしたちの中に住んだ結果であるからです。

VI. **わたしたちがキリストの中に住み、キリストがわたしたちの中に住むとき、わたしたちは召会生活を持つことができます——ヨハネ 15:4-5. I コリント 1:2, 9, 30. 12:27:**

- A. わたしたちはミングリングされた霊の中で生きることによってのみ、真の召会生活を持つことができます。わたしたちは召会生活のために、このミングリングされた霊の中にとどまるべきです——1:2. 12:27。
- B. 召会生活は、互いに愛し合う生活です——ヨハネ 15:12, 17。
- C. わたしたちは、ぶどうの木としてのキリストの中に住むとき、共に枝の間ですばらしい交わりにあずかります——4-5 節. I ヨハネ 1:3-7。



**クリスチャン生活をするには、神の壮大な家からの、またそのための、  
命の供給を伴う命の流れを享受することによってである**

聖書：エゼキエル 47:1-12. IIコリント 3:6.

Iコリント 9:11. 3:6, 9. 4:15. 3:2, 12

**I. クリスチャン生活をするために、わたしたちは神の家からの命の流れを享受する必要があります——エゼキエル 47:1-12：**

- A. 神の究極の行動は人の中の神の行動であり、神の命、性質、要素、本質において神であるすべてをもって人に浸透することによって、人を神化し、神の栄光を現して、神を表現することです——IIコリント 3:18. Iヨハネ 3:2。
- B. 水は敷居の下から流れ出ます——エゼキエル 47:1：
1. 水が流れるために、敷居、出口がなければなりません——参照、詩 81:10。
  2. わたしたちがさらに主に近づき、さらに主と接触するなら、出口があって、生ける水が召会から流れ出るようにします——詩歌 614 番。
- C. 流れは東に向かっています——エゼキエル 47:1：
1. 神の川は神の栄光の方向に流れます——参照、民 2:3. エゼキエル 43:2。
  2. 召会の中のあらゆる人が神の栄光を追い求めて顧慮するなら、生ける水は召会から流れ出ます——ヨハネ 7:18. Iコリント 10:31。
- D. 水は家の右側から流れ出ます——エゼキエル 47:1：
1. 聖書で右側は最高の地位、第一位です——参照、ヘブル 1:3。
  2. 命の流れはわたしたちの内側で首位でなければならず、わたしたちの生活と働きの中で制御する要因とならなければなりません——啓 22:1. コロサイ 1:18 後半。
- E. 流れは祭壇のそばにあります。この事が見せているのは、わたしたちが命の流れを享受するために、十字架の対処と完全な献身を必要とするということです——エゼキエル 47:1。
- F. 命の流れの増し加わりのために、わたしたちは青銅の人としての主によって測られる必要があります——40:3. 47:2-5. 啓 1:15. 参照、ヨハネ 7:37-39：
1. 測ることは、試験し、テストし、裁き、所有することです。完全な単位である千キュビト(参照、詩 84:10)を四回測ることが示しているのは、被

造物としてのわたしたちが主によって徹底的に測られる必要があり、それは主がわたしたちの全存在を占有し、徹底的に所有するためであるということです(イザヤ 6:1-8)。

2. わたしたちが主にわたしたちを所有していただくために、主にわたしたちを試験し、テストし、裁いていただければいただくほど、流れはますます深くなります。流れの深さは、わたしたちがどれほど主によって測られてきたかにかかっています——参照、Iヨハネ 1:5, 7。

3. わたしたちは主によって測られれば測られるほど、命の恵みの流れによってますます拘束され制限されて、ついには、その中で泳げる川としての流れる三一の神の中で失われ、彼によって押し流されるまでになります。ある意味で、わたしたちは自分のすべての自由を失いますが、別の意味で、わたしたちは真に自由です——エゼキエル 47:4-6。

G. 川はすべてのものを生かします。川の流れは木、魚、家畜を生み出します——7, 9-10, 12 節。

H. 川は、乾き干からびた地を潤し、死の水をいやします。この潤すことといやすことは、命を生み出すためです——8 節：

1. 川は沢と沼をいやすことはできません。沢や沼は中立の場所、中途半端な場所、妥協となまぬるさの場所です——11 節。参照、啓 3:15-16。

2. 命の流れのために、また召会生活のために、主イエスは絶対的であることを願っており、また要求しています。絶対的であることによって、わたしたちは流れの中にいます。流れは細々としたものではなく、泳げる川です。こうして川が入る所はどこでも、すべてのものが生きます。

**II. わたしたちが命の流れとしてのキリストを享受することは、わたしたちが種まく者、植える者、水を注ぐ者、生む者、養う者、建造する者となり、命を供給して、神の驚くべき有機的な建造、すなわち神の壮大な家のためであることです——IIコリント 3:6：**

A. 命の奉仕者は種まく者であり、霊の種をまきます：

1. Iコリント第9章11節でパウロはコリント人に、「わたしたちがあなたがたに霊のものをまいて」と言います。「霊のもの」は霊の種を指しています。

2. 種は命の容器であり、霊の種をまくことは、わたしたちの霊の中で、わたしたちの霊をもって、わたしたちの霊から命を分け与えることです。主イエスは種まく方として来て、ご自身を命の種として人類の中へとま

きました——マタイ 13:3, 37。

3. 主の回復の中で、わたしたちは、新契約の奉仕者として、種まく者となる必要があり、命を分け与え、他の人の中でキリストを成長させ生み出す必要があります。
- B. 命の奉仕者は植える者であり、キリストを神の民の中へと植えます—— I コリント 3:6 :
1. キリストの中で再生された、神の命を持つ信者たちは、神の新創造の中で神の耕された地、神の農場です——9 節。
  2. わたしたちはキリストを他の人の中へと植えるために、わたしたちの霊の中で命としてのキリストを真に経験する必要があります。
- C. 命の奉仕者は水を注ぐ者であり、キリストをもって人々に水を注ぎます。いったんわたしたちはキリストを他の人の中へと植えたなら、命の水をもって彼らに水を注ぐ必要があります——6 節 :
1. わたしたちは神の農場で水を注ぐ者を、貯水池をもって農場に水を供給する灌漑システムにたとえることができます。わたしたちは神聖な「灌漑システム」となり、貯水池をもって生ける水をわたしたちの内側に蓄え、神の農場としての召会に水を注ぐべきです。
  2. わたしたちは命の水としてのキリストに対する真の経験と、彼との生きた接触を持つ必要があります。それは、わたしたちが生ける水の経路、神聖な灌漑システムとなることができるためであり、他の人に命の水を供給することができるためです——ヨハネ 4:14, 7:37-39。
- D. 命の奉仕者は生む者、父であり、彼が生んだ子供たちに命を分け与えます—— I コリント 4:15 :
1. 生むことは、命を分け与えることを通して霊の子供たちを生むこと、彼らを生み出すことです。
  2. わたしたちは神聖な「命の胚芽<sup>はいが</sup>」を持って、神聖な命を他の人の中へと分け与える必要があります。それは、彼らが神の子供たちとして生まれるためです。
- E. 命の奉仕者は養う者です。養うことは命の事柄です。それは教えることとは異なります。教えることは知識の事柄です :
1. 乳を飲ませ、あるいは食物を食べさせることは、人を養うことです (3:2)。使徒がコリントの信者たちに供給したのは乳であり、それは彼らを養ったはずでは

2. 使徒たちの健全な教えは、命の供給としての健康な教えを人々に供給し、彼らを養い、あるいは彼らをいやします—— I テモテ 1:10 後半, 6:3, II テモテ 1:13, テトス 1:9。
- F. 命の奉仕者は建造する者であり、金、銀、宝石をもって建てます：
1. 金は、神聖な性質における父なる神を象徴します。銀は、贖う働きにおけるキリストを象徴します。宝石は、造り変える働きにおけるその霊を表徴します(これは、人の性質を表徴する木に相對し、肉における人を表徴する草に相對し、命のないものを表徴する刈り株に相對します) —— I コリント 3:12。
  2. 雅歌が描写しているのは、正常な召会生活の中で、成就された信者たちが造り変える霊と組み合わされて、キリストを愛し追い求める者たちを成就し、三一の神を彼らに供給して彼らが造り変えられるようにし、三一の神の属性が彼らの中へと造り込まれて彼らの美德となるということです——雅 1:10-11。
  3. これは、キリストの有機的なからだとしての召会を建造して、新エルサレムを究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを完成するためです—— I コリント 3:12, 啓 21:18-21。

**三一の神はキリストの中で、  
わたしたちの心の中を照らすことによってわたしたちの命となる**

聖書：Ⅱコリント 4:4, 6-7, 3:18, マタイ 17:2,

エペソ 5:8-9, 啓 22:4 前半, 5 後半, 21:23

**I. 「この時代の神は、彼らの中で、信じない者たちの思いをくらましてしまい、神のかたちであるキリストの栄光の福音の輝きを、彼らの上に照らさせないようにしています」——Ⅱコリント 4:4：**

- A. この時代の神であるサタンは、信じない者たちの思いや思考をくらましてしまい、キリストの栄光の福音の輝きを、彼らの心の中を照らさせないようにしています：
1. 思いがくらまされている人たち、あるいは覆われている人たちは、自分たちは何も礼拝していないと思っていますが、実は彼らの神はサタンです。
  2. 無神論者は、自分たちが何をしているかを知らずにサタンを礼拝しています。
  3. 今日、ほとんどすべての人は、この時代の神によって思いがくらまされています。
- B. キリストは、神のかたちであり、神の栄光の輝きです。こういうわけで、キリストの福音とは、神の栄光がわたしたちの心の中で輝き、照射し、照らす福音です——ヘブル 1:3, Ⅱコリント 4:6。
- C. キリストの栄光の福音は、祝福に満ちた[ほめたたえられるべき]神の栄光の福音です——I テモテ 1:11。
- D. キリストの栄光の福音は、キリストの中で、神の命と性質を神の選ばれた人の中へと分与することによって、神の栄光を輝かし出します。この栄光の中で、神は彼の民の間でほめたたえられます——ヘブル 1:3, エペソ 1:3, 6, 12, 14。

**II. 「『暗やみから光が照りいでよ』と言われた神は、わたしたちの心の中を照らして、イエス・キリストの御顔にある神の栄光の知識を、輝かせてくださった」——Ⅱコリント 4:6：**

- A. 神がわたしたちの心の中を照らした結果は、イエス・キリストの御顔にある神の栄光の知識を輝かせるということ、すなわち、わたしたちを照らして、わたしたちにキリストの福音において神の栄光を認識させるということです——4, 6 節。

- B. 神の栄光の知識の輝きは、イエス・キリストの御顔にあります。これが示していることは、キリストの栄光の福音が一人の愛すべきパーソンであって、彼の御顔にわたしたちは神の栄光を見ることができるといことですから——4, 6 節. マタイ 17:2。
- C. イエス・キリストの御顔に現された神の栄光は、イエス・キリスト(彼は神の栄光の輝きです)を通して表現された栄光の神です。彼を知ることは、栄光の神を知ることで—使徒 7:2. ヘブル 1:3。
- D. 神がわたしたちの心の中を照らせば照らすほど、ますますわたしたちは他の人たちを照らします。それによって彼らは、イエス・キリストの御顔にある神の栄光を認識し、すなわち、神を表現し明らかに示すキリストを認識します。キリストの栄光の福音は、まずわたしたちの中へと輝き、それからわたしたちの中から輝き出ます——ヨハネ 1:18. マタイ 5:16. ピリピ 2:15。

**III. 「わたしたちはこの宝を土の器の中に持っています。それは、この卓越した力が神のものであって、わたしたちからではないことが現れるためです」——II コリント 4:7 :**

- A. キリストの栄光の福音の輝きを通して、栄光のキリストは卓越した宝として信者たちに受け入れられます。今や、三一の神の具体化また表現であるキリストの輝く実際は、わたしたちの内側の宝です——6-7 節：
  - 1. わたしたちの心の中の神の照らしは、神の分与であり、わたしたちの中へと宝をもたらします。この宝とは、三一の神の具体化であるすべてを含むキリストが命を与える霊として、わたしたちの命またすべてとなることです——4, 6-7 節. コロサイ 2:9. 3:4, 11. I コリント 15:45 後半。
  - 2. この貴重な宝である内住のキリストは、クリスチャン生活のための供給の神聖な源です——ピリピ 4:13. II コリント 13:5. 4:7。
- B. この貴重な宝は、土の器であるわたしたちを新契約の奉仕者とならせ、貴重な務めを持たせます。これは、復活における神聖な力によります。この卓越した力は確かに神からのものであって、わたしたちからではありません——3:6. 1:9. 4:7。
- C. わたしたちが輝かし出すことを通して栄光の福音を受け入れる人たちは、彼らの中へと分与される尊い宝としてのキリストを持ちます。そのとき、彼らもわたしたちと同じように、この貴重な宝を内容とする土の器になります——4, 6-7 節。

**IV. 「わたしたちはみな、主の栄光をおおいのない顔をもって、鏡のように見つめ、そして反映して、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです」——Ⅱコリント 3:18 :**

- A. 主の栄光を見つめることは、わたしたち自身が主を見ることです。主の栄光を反映することは、他の人がわたしたちを通して主を見ることができるようになることです。
- B. 主の栄光は、復活し昇天したキリストの栄光です。このキリストは、命を与える霊であって、わたしたちの中に住み、彼ご自身と、彼が達成し、到達し、獲得したすべてをわたしたちの実際とならせて、わたしたちが彼と一になり、栄光から栄光へ、主と同じかたちへと造り変えられるようになります。このようにして、彼はわたしたちを彼であるのと同じにしつつあります——ルカ 24:46. ヘブル 2:9. Ⅱコリント 3:18. ローマ 8:29.
- C. これは、復活において、命の中で進行している過程です——Ⅱコリント 3:18.

**V. 「あなたがたはかつては暗やみでしたが、今は主の中で光である……光の子供たちとして歩きなさい」——エペソ 5:8 :**

- A. 神は光であるので、神の子供たちであるわたしたちは光の子供たちです——Ⅰヨハネ 1:5. エペソ 5:8. ヨハネ 12:36.
- B. わたしたちは光の子供たちであるだけではありません。わたしたちは光そのものです。わたしたちが光であるのは、わたしたちが主の中で神と一であるからです——マタイ 5:14. Ⅰヨハネ 1:5.
- C. わたしたちは光の中にいるとき、正しいか間違っているかの領域の外にいます——7 節.
- D. もしわたしたちが光の子供たちとして歩くなら、わたしたちはエペソ第 5 章 9 節で描写されている実を結びます：
  - 1. 光の実は、性質において善、手続きにおいて義、表現において真実でなければなりません。それは神が、わたしたちの日ごとの歩みの実際として表現されるためです。
  - 2. 善と義と真実の中にある光の実は、三一の神と関係があります：
    - a. 善としての父なる神は、光の実の性質です。ですから、9 節の善は、父なる神を指します——マタイ 19:17.
    - b. 義は、子なる神を指します。なぜなら、キリストは神の義なる手続き

メッセージ 6 (続き)

にしたがって、神の定められた御旨を成就したからです——ローマ 5:17-18, 21。

c. 光の実の表現である真実は、霊なる神を指します。なぜなら、彼は実際の霊であるからです——ヨハネ 14:17, 16:13。

**VI. 「彼らは彼の御顔を見る……主なる神が彼らを照らす」——啓 22:4 前半, 5 後半:**

- A. 神と小羊の御顔を見ることは、永遠において神に贖われた者が享受する三一の神の祝福となります——4 節前半。
- B. 神ご自身は小羊の中でわたしたちを照らし、わたしたちは彼の栄光の輝きの下で永遠に生きます——5 節後半, 21:23。



## 2024年メモリアルデー特別集会アウトライン

---

2024年5月24日 初版印刷発行 定価：本体200円＋税

© 2024 Living Stream Ministry

発行所 JGW 日本福音書房

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町540

TEL 03-6457-6243 FAX 03-6457-6244

振替口座00120-3-22883

ゆうちょ銀行振込口座

019店(ゼロイチキョウ)当座0022883

---

落丁・乱丁の際はお取りかえいたします。

